

## 平成19年度 施策評価表

所属 03080000

総務部 総務課

施策	0002 非核平和						
区分							
対象	区民439,942人（平成18年4月1日現在、外国人含む）						
施策意図	世界平和を願い、核兵器廃絶を望んでいる。						
現状と課題	本区は昭和58年11月に「非核平和都市宣言」を行い、以来非核平和の想いを区民に訴えるため本施策を実施してきた。区民の非核平和への関心を高め、先の戦争での貴重な記憶・体験を若い世代に引き継いでいくため、被爆者の会の活動を支援し、協力して各種非核平和啓発事業を実施していくことが、今後の本区の重要な課題である。						
成果指標	成果指標1：非核平和に関心のある区民の割合（マーケティング調査） 目標：21年度で74.5%						
目標達成状況	成果指標1 [ % ]	予定	平成17年度	平成18年度	平成19年度		
		実績	73.90	73.90	74.10		
	成果指標2 [ ]	予定					
		実績	76.20	70.70			
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
	トータルコスト (千円)	予定		9,454	9,638		
		実績	9,855	8,946			
施策の位置付け	区の関与度合	区と住民等との協働。非核平和都市宣言をした区が被爆者の会とともに、積極的に非核平和の大切さを区民に訴え続けることにより、区民の非核平和への関心をより一層高める。					
	区民ニーズへの貢献	非常に大きい。区内で啓発事業を行っている団体はほかにない。					
	成果向上の必要性	現状維持。経費を削減しつつより効果がある事業を行ってきた。					
	成果向上の容易性	容易ではない。経費を削減しつつより効果がある事業を行ってきた。					
位置付け総合評価	継続。経費を削減しつつより効果がある事業を行ってきた。						
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	総合評価
	000201	非核平和都市宣言関連事業				7,456	6
	000202	葛飾原爆被爆者の会助成				1,490	5

# コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 03080000

施 策 0002

総務部 総務課

非核平和

期 間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0	0		
		都道府県支出金	(2)		606	816		
		地方債	(3)		0	0		
		その他	(4)		0	0		
		一般財源	(5)		8,209	8,325		
	直接費	事業費	(6)		2,638	3,035		
	職員人件費	人件費	(7)		6,177	6,106		
		再雇用職員分	(8)		0	0		
		(職員数：賦課)	(9)		0.71	0.71		
		(職員数：配賦)	(10)					
		職員数合計(9)+(10)	(11)		0.71	0.71		
	調整額	間接費	(12)		0	0		
		(加算)減価償却費	(13)		0	0		
		(加算)金利	(14)		0	0		
		(加算)退職給与引当	(15)		639	497		
		(控除)コスト対象外	(16)		0	0		
		(控除)雑収入	(17)		0	0		
		調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		639	497		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		9,454	9,638			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0			
		都道府県支出金	(21)	659	380			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	0	0			
		一般財源	(24)	8,557	8,069			
	直接費	事業費	(25)	3,323	2,556			
	職員人件費	人件費	(26)	5,893	5,893			
		再雇用職員分	(27)	0	0			
		(職員数：賦課)	(28)	0.71	0.71			
		(職員数：配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	0.71	0.71			
	調整額	間接費	(31)	0	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0	0			
		(加算)金利	(33)	0	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	639	497			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
		調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	639	497			
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	9,855	8,946				

<b>施策名</b>	<b>非核平和</b>
------------	-------------

担当課： 総務課

## 施策の達成状況

【達成度評価】
<p>成果達成状況 未達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標「非核平和に関心のある区民の割合（マーケティング調査）」</li> <li>・目標値（平成21年度）：74.5%</li> <li>・実績値（平成18年度）：70.7%（前年比5.5ポイント減）      17年度実績値：76.2%</li> </ul> <p>原因</p> <p>構成事務事業である「葛飾原爆被爆者の会」、「非核平和都市宣言関連事業」ともに、成果指標における実績は、前年と比し同等かそれを上回る結果を得ている。また、事業活動そのものについても、従前を上回る規模で展開しており、事業内容そのものからは成果指標が減少した明確な原因が見出せないところである。しかしながら、「非核平和都市宣言関連事業」における活動指標である「アンケート回収数(被爆体験講話会・原爆資料展)」に落ち込みが見られることから、非核平和に対する関心度の相対的な低下が進んだことは考えられる。ただし、非核平和に対する関心度は、諸外国における紛争や核兵器開発・配備問題の有無など、その時々々の社会状況にも影響を受け得るものであり、今回の成果指標の減少が、必ずしも今後の恒常的な関心度の低下につながるものであるとは考え難い。</p> <p>対策</p> <p>今年度については成果指標における数値の減少が見られるが、事業自体については一定の成果を挙げてきているものとする。しかし、戦後62年が経過し、戦争を実経験として有していない世代が多数を占めている現状を考えると、今後、非核平和に対する関心度、認識度そのものの低下が進む恐れがある。については、表面的ではなく、真に非核平和の重要性を認識し得るよう既存事業の一層の充実を図る。また、戦争体験者が減少する中、貴重な体験談等を収集し、後世に伝える方策を検討し実施していく。</p>

## 構成事務事業の次年度方向性

【次年度方向性の考え方】
<p>原則として既存事業を継続する。</p> <p>平成19年度については、新たに「新小岩駅前における非核平和パネルの展示」及び「小・中学校貸出用の非核平和ポスターの作成」を新規事業として実施し、非核平和に係る啓発の場の機会の拡充を図り、区民の関心の更なる向上を図る。</p> <p>なお、葛飾区原爆被爆者の会による被爆体験講話会については、会員の高齢化が進むなか、今後の事業規模は縮小は避けがたい状況にある。については、既に実施している被爆体験講話会のビデオカメラによる記録を継続して行うとともに、記録の整理と活用方法について検討を行うこととする。</p>